奈良中学校だより

世界を小とせよ

熊谷市立奈良中学校第４号
ＴＥＬ　０４８－５２１－２３６４
平成３０年７月１日発行

学校教育目標
自ら考え
他に貢献できる生徒の育成

目指す生徒像
☆自ら学ぶ生徒
☆心を耕す生徒
☆体を鍛える生徒

奈良中スローガン
○「時・場・礼」
○「負けじ魂」
○「意気高し」
○「深き愛情」

奈良中の伝統です。

学習に大切な3つの“P”

６月朝会講話

計画・練習・表現（創造）のプロセスが大きな成果となります。

３年生にとって、大きな宿泊行事である修学旅行も無事終了し、最後の大会である学校総合体育大会も過日終わりました。１，２年生は、間近に迫る神川体験学習、大滝林間学校に向けて準備も万全のようです。そして、約３週間後には夏休みに入ります。夏休みにかかわらず、計画的に実行して欲しいのは学習です。以下、６月の朝会で紹介した学習についての話です

今日は学習を進める上で大切な**３つの“Ｐ”**についてお話しします。
最初の“Ｐ”は**“Plan”**計画です。定期テストの前に計画を立ててテスト勉強をする人は多いと思いますが、普段の家勉（家庭学習）においても計画を立てて行えれば、継続した家庭学習ができます。例えば、週単位で計画を立てるとします。日曜日は計画の日、月曜から土曜までの計画を立て、計画に沿って学習を進めます。一週間後、次の日曜は、その週でやり残した分の学習と次の週の計画の日とします。これを続けることで計画的な学習が実現します。「継続は力なり」です。

次の“Ｐ”は**“Practice”**練習です。実技教科では、練習をしなければ、技術が身に付かないのと同様に、それぞれの教科でも練習問題を自分の力で解いたり、何回も教科書を音読したりする練習は学力を向上させる基盤となります。ですから、計画の中に、こうした練習を入れます。何度も繰り返し練習することは、単純なことかもしれませんがとても大切な学習であり、３つ目“Ｐ”につながる重要な活動です。

そして、３つ目の“Ｐ”は**“Produce”**表現する、創造することです。計画を立てて学習を進め、練習を行って身に付いた力を使って、問題や課題を自分なりの解き方で考えたり、自分の力で表現したり、様々な発想で作品を製作するなど、これまでに身につけたすべての知識や技能を総動員して活用する学習がこの“Produce”になります。そしてこの３つ目の“Produce”こそが、すべての学習のゴールと言ってもいいかもしれません。

「基礎的、基本的な知識や技能、技術を身に付け、自分の力としてその力を発揮すること」これが真の意味での学力です。その学力を効果的に身に付けるため、今日お話しした**３つの“Ｐ”**を是非実践して欲しいと思います。

保護者の皆様へ

間もなく前期前半が終了し夏休みに入ります。これまで、本校の教育活動に対し、ご支援・ご協力ありがとうございました。今月は、資源回収、ＰＴＡ奉仕作業等でお世話になります。ご多用の折とは存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。また、夏休み中、子どもたちが安全に、健康に生活できますようご指導よろしくお願いいたします。

3年生、修学旅行大成功

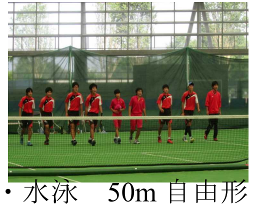
『古都から学ぶ歴史と文化　絆を深める京都・奈良　～赤学年の集大成～』をスローガンに、３年生が修学旅行に行ってきました。全員が参加し、大きなケガや病気もなく３日間を予定通り過ごせたことは何よりも大きな成果だと感じます。それぞれ感じたこと、学んだことは異なりますが、この赤学年全員で取り組めた一大行事、何にも代え難い思い出となったことでしょう。実行委員を中心に全員の力で成功させた修学旅行です。この経験を自信に、皆さんの中学校生活の集大成にも期待しています。

金閣寺

東大寺

受賞･表彰･入賞　おめでとう

○第５６回春季熊谷剣道大会中学生男子
　第３位　栗原直也
○第３８回熊谷市青少年剣道大会会　第３位
　小笠原柊　栗原直也　山口拓巳　小林想太
　藤野淳也
○第50回熊谷市長杯市民卓球大会女子
　２部　第1位　山口寧々　山田遥香
　　　　松崎七海　加藤愛菜　野原理丘
　３部　第2位　棚澤穂香　小田嶋凜　古河咲
　　　　小松美優　飯田朱音　田島寿珠
○第９回ｽﾘｸｿﾝｶｯﾌﾟ大里地区ｿﾌﾄﾃﾆｽ大会　団体
　第３位　滝澤薫　仲田悦志　黑﨑暖人
　　　　神山千尋　荻原志道　小島颯月
　　　　滝澤卓　吉野優作
○第２０回熊谷さくら杯争奪中学生ｿﾌﾄﾃﾆｽ大会　男子団体　第３位
　滝澤薫　仲田悦志　黑﨑暖人　神山千尋　小島颯月　髙橋歩夢
　小枝大義　吉野優作
○学校総合体育大会熊谷市予選会
・剣道　女子個人　第２位　坂口妃由　県大会出場
・ソフトテニス　団体　第１位　県大会出場
　滝澤薫　仲田悦志　黑﨑暖人　神山千尋
　栗原智希　古室蒼良　小島颯月　吉野優作
　個人　第３位　黑﨑・滝澤組、県大会出場
　　　　　　　　仲田・神山組　県大会出場
・ラグビー　ベスト４　県大会出場
・柔道　清水夢渚　第３位　県大会出場
・水泳　50m 自由形　第３位　飯塚亜生奈　県大会出場　、
　100m 背泳ぎ　第４位　200m 背泳ぎ　第３位　髙橋幸汰　県大会出場
　100m 自由形　第３位　飯塚亜生奈　・卓球　団体　第３位



県大会出場の皆さん、おめでとうございます。

７月の主な行事予定

			完全下校
1	日	資源回収　アルミ缶回収	
2	月		６：００
3	火		６：００
4	水	２年大滝林間	６：００
5	木	２年大滝林間　１年神川宿泊 ３年実力テスト	☆
6	金	１年神川宿泊	６：００
7	土	くまなび(14：00)	
8	日	資源回収予備日	
9	月	非行防止教室	６：００
10	火	生徒朝会　期末短縮	５：００
11	水	小中合同交流会　⇩	５：００
12	木	専門委員会	☆
13	金	登校指導日　授業参観・懇談会	☆
14	土	くまなび(14：00)	
15	日		
16	月	海の日	
17	火		６：００
18	水		６：００
19	木	給食最終日　大掃除　安全点検	６：００
20	金	授業終了日　全校集会	12：００
21	土	夏季休業日	
22	日	ＰＴＡ奉仕作業（7:00 ～）	
23	月	夏季教育相談　学力向上	
24	火		
25	水	学校保健委員会　学力向上	
26	木		
27	金	学力向上	
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

８月の予定
５日・・・アルミ缶回収
２０日・・・登校日　租税教室
２９日・・・授業開始　全校朝礼

生徒数

男子	８４名
女子	７２名
計	１５６名

（７月１日　現在）

生徒総会
（H30.6.8）

松村萌々香　亀山彩花　本橋愛望
下田梨央　田島英利奈　浅見美宇
佐藤美空　清水夢渚　髙橋莉子　天沼千秋　田中希明　西塚萌衣　吉野琉音
福島あやね　吉田芽衣

教室はまちがうところだ

蒔田晋時

みんなどしどし　手をあげて
まちがった意見を　言おうじゃないか
まちがった答えを　言おうじゃないか

まちがうことを　おそれちゃいけない
まちがったものを　わらっちゃいけない
まちがった意見を　まちがった答えを
ああじゃないか　こうじゃないかと
みんなで出しあい　言いあうなかで
ほんとのものを　見つけていくのだ
そうしてみんなで　伸びていくのだ

いつも正しく　まちがいのない
答えをしなくちゃ　ならんと思って
そういうとこだと　思っているから
まちがうことが　こわくてこわくて
手もあげないで　小さくなって
だまりこくって　時間がすぎる

しかたがないから　先生だけが
勝手にしゃべって　生徒はうわのそら
それじゃちっとも　のびてはいけない

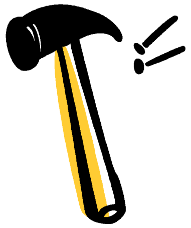
神様でさえ　まちがう世の中
ましてこれから　人間になろうと
しているぼくらが　まちがったって
なにがおかしい　あたりまえじゃないか

うつむき　うつむき
そうっとあげた手　はじめてあげた手
先生がさした

ドキリとむねが　大きく鳴って
どっきどっきと　体が燃えて
立ったとたんに　忘れてしまった
なんだかぼそぼそ　しゃべったけれども
なにを言ったか　ちんぷんかんぷん
私はコトリと　すわってしまった

体がすうっと　すずしくなって
ああ言やあよかった　こう言やあよかった
あとでいいこと　うかんでくるのに

県大会は７月中旬から下旬に行われます。



「いま始まる新しいいま」

川崎　洋

心臓から送り出された新鮮な血液は
十数秒で全身をめぐる
わたしはさっきのわたしではない
そしてあなたも
わたしたちはいつも新しい

さなぎからかえったばかりの蝶が
生まれたばかりの陽炎の中で揺れる
あの花は
きのうはまだ蕾だった
海を渡ってきた新しい風がほら
踊りながら走ってくる
自然はいつも新しい

きのう知らなかっ
きょう知る喜び
きのうは気づかな
きょう見えてくる
日々新しくなる
古代史の一部が
過去でさえ新し

きょうも新しいめ
まっさらの愛が
次々に生まれ
いま初めて歌われ
いつも　いつも
新しいいのちを生
いま始まる新しい

昨年度の卒業
詩です。皆さん
新しい「いま」
一人一人が新
ち、一日一日を
い一年にして欲

それでいいのだ　いくどもいくども
おんなじことを　くりかえすうちに
それからだんだん　ドキリがやんで
言いたいことが　言えてくるのだ
はじめからうまいこと　言えるはずないんだ
はじめから答えが　あたるはずないんだ

なんどもなんども　言ってるうちに
まちがううちに
言いたいことの　半分くらいは
どうやらこうやら　言えてくるのだ
そうしてたまには　答えもあたる

まちがいだらけの　ぼくらの教室
おそれちゃいけない　わらっちゃいけない
安心して　手をあげろ
安心して　まちがえや

まちがったって　わらったり
ばかにしたり　おこったり
そんなものは　おりゃあせん

まちがえたって　だれかがよ
なおしてくれるし　教えてくれる
困ったときには　先生が
ないチエしぼって　教えるで
そんな教室　つくろうやあ

おまえへんだと　言われたって
あんたちがうと　言われたって
そう思う　だからしょうがない

だれかがかりにも　わらったら
まちがうことが　なぜわるい
まちがってること　わかればよ
人が言おうが　言うまいが
おらあ自分で　あらためる
わからなけりゃあ　そのかわり
だれが言おうと　こづこうと
おらあ根性　まげねえだ

そんな教室　つくろうやあ

以上です。同タイトルの絵本（蒔田晋治：作・子どもの未来社）を直接読まれることをオススメします。１９８５年まで静岡県の小中学校教員をされていたそうです。長いので、まず担任が音読する時に、子どもたちには各自の好きなところ（いくつでもＯＫ）に印（マーカー）をつけてもらいました。それから、みんなでいっしょに音読しました。

神様でさえまちがう世の中
ましてこれからの人間になろうとしている
ぼくらがまちがってなにがおかしい
あたりまえじゃないか
安心